

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和7年5月7日
行事に関する 問い合わせ先	大田市教育委員会 学校教育課 黒田 TEL 0854-83-8160（直通）

報道機関への情報提供（取材依頼）について

1. 行 事 名	おおだ教育魅力化推進事業 令和7年度「ふるさと夢未来講演会」
2. 目 的	中学生と高校生が自分の未来社会の実現に向け、夢を実現した実践者の話を聞き、互いの感想や未来への夢を語り合う場をもつことで、「夢をもつこと」「夢の実現に向かって努力すること」の大切さについて学ぶ。
3. 開催日時・場所	令和7年5月21日(水) 14:00～15:40 邇摩高等学校・体育館
4. 主 催	大田市教育委員会
5. 後 援	
6. 出席者数	・大田市内小・中・高校生 会場参加者 邇摩高校244名、 大田西中90名、第三中9名 『当日参加者計343名』 ・教育長、部長、および関係職員
7. 事業の特徴	上記の目的達成のために令和3年度から実施している講演会 ○事業内容 ・将来の「ふるさと」を担う人材育成をめざした、大田市の「おおだ教育魅力化推進事業」のなかの中学校・高等学校交流事業の取組。 ○講師 吉岡佳紀（よしおか よしのり）氏 ・健幸ファーム 株式会社 いづも農縁 代表取締役社長 ○演題 『夢と仕事と社会と会社』 ○ワークショップ 「大切なものを大切にすることを考える」
8. 特記事項	撮影 NG の生徒については当日お知らせする
9. その他	

『ふるさと夢・未来プロジェクト』

令和7年度 ふるさと夢未来講演会 実施計画

教育部 学事・魅力化推進室

1. 本事業について

- 本事業は、将来の「ふるさと」を担う人材育成をめざした、大田市の「おおだ教育魅力化推進事業」のなかの中学校・高等学校交流事業の取組である。

2. 目的

- 夢をもち希望をもって努力することによって、夢を実現した実践者の話を聞いたり、「夢・未来・挑戦」をテーマに意見交換したりすることにより、「夢をもつこと、夢実現に向かって努力すること」の大切さについて学ぶ。

3. 日時 令和7年5月21日（水）14:00～15:40

①開会行事（あいさつ・講師紹介）	14:00～14:10
②講演	14:10～15:05
③ワークショップ	15:05～15:35
④閉会行事（謝辞・あいさつ）	15:35～15:40

4. 会場 県立遼摩高等学校 体育館

5. 講師 健幸ファーム（株）いづも農縁 代表取締役社長 吉岡佳紀 氏

【プロフィール】

健幸ファーム 株式会社 いづも農縁 社長 吉岡佳紀 60歳
島根県大社町（現・出雲市）生まれ。

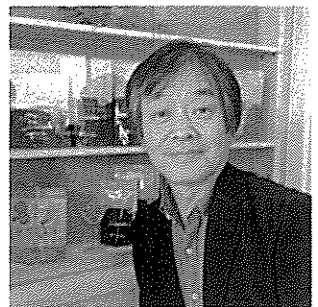
故郷の衰退を嘆き、14歳で「将来は大社町長になる！」と立志。東京の大学へ進学するも、都会のきらびやかさに負けて・・・。

その危機感から「観光のヒントを探す」ために東京ディズニーランドへ就職。店舗勤務、グッズ開発を経験した後、地元に戻り県職員に。

起業家支援やIT産業の応援に励むうち、励みすぎて支援していた会社を事業承継。

現在は「地域の元気を農業から」をコンセプトに、故郷に新しい風を吹かせようと奮闘中。

（吉岡社長作）



6. 演題 『夢と仕事と社会と会社』

7. ワークショップ 「大切なものを大切にすることを考える」

8. 参加者 遼摩高校生・大田市内中学生 343名 + 教職員、教育委員他
(遼摩高校:全学年 244 名・大田西中:2.3 年 90 名・三中:全学年 9 名)

- (1) 高等学校の対応
○遼摩高は会場にて全学年 244 名参加
○大田高の参加方法は録画したものを視聴
- (2) 市内中学校の対応
○会場にて参加 (参加校…大田西中 2.3 年 90 名・三中全年 9 名)
○各中学校は録画したものを視聴 (希望調査)
- (3) 市内小学校の対応
○各小学校は録画したものを視聴 (希望調査)

9. 内容

- (1) 【ふるさと夢未来講演会】
・講演およびワークショップを通して自分の可能性を考える。
- (2) 【事後学習】(各学校)
・夢や将来について考え、新たな気付き・思い・感想などをまとめる。
「夢・未来シート (感想用紙)」の活用
・テーマ「夢・未来・挑戦」について、意見交換する。

10. 講演会スケジュール

月日 (曜)	予 定	備 考
5 月 8 日 (木)	・校長会にて事業説明	※各校の参加希望について 事前調査を行います。 ○今年度は、大田西中、三中 参加、他の中学校、小学校 に視聴希望調査
5 月 20 日 (火)	・遼摩高校にて最終打合せ	
5 月 21 日 (水)	・【ふるさと夢未来講演会】 ・講師考案のワークショップを実施	※ワークショップは参加校 のみ実施
5 月下旬	・【事後学習】(各校で)・講演を聞いて思った こと考えたこと、自分の夢や将来等について 書く。テーマ「夢・未来・挑戦」について意 見交換を行う。	